

技術基準No. : FT-302

改-1 : 2024年1月 17日

ファステック足場 組立・解体手順書



JFE 機材フォーミング 株式会社

はじめに

弊社ファステックをご愛用いただき誠にありがとうございます。

- 本手順書はファステック足場を安全に組立・解体作業を行う為の手順書です。
- 必ず本手順書に示す手順をご理解の上、作業を行うようお願い致します。
- 本手順書と異なる組立をされた場合、倒壊・転落等の危険があります。
- ファステック足場承認の使用基準・組立基準を順守するとともに、労働安全衛生関係法令に従い作業を行うようお願い致します。
- 本手順書は、常時簡便に参照出来るよう、保管下さい。



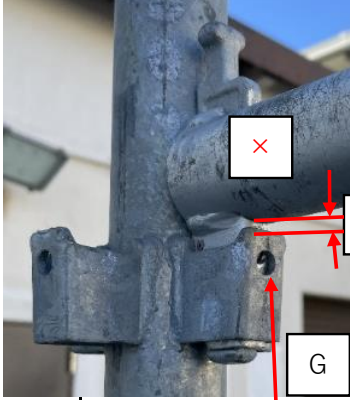



目次

1. 1層目の組立	・・・	p.1/16	～	p.4/16
2. 2層目の組立	・・・	p.5/16	～	p.10/16
3. 3層目以降の組立	・・・	p.11/16		
4. 開口部（梁枠）	・・・	p.12/16		
5. 解体手順	・・・	p.13/16	～	p.14/16
6. 先行手摺付きブレース解体要領	・・・	p.15/16	～	p.16/16

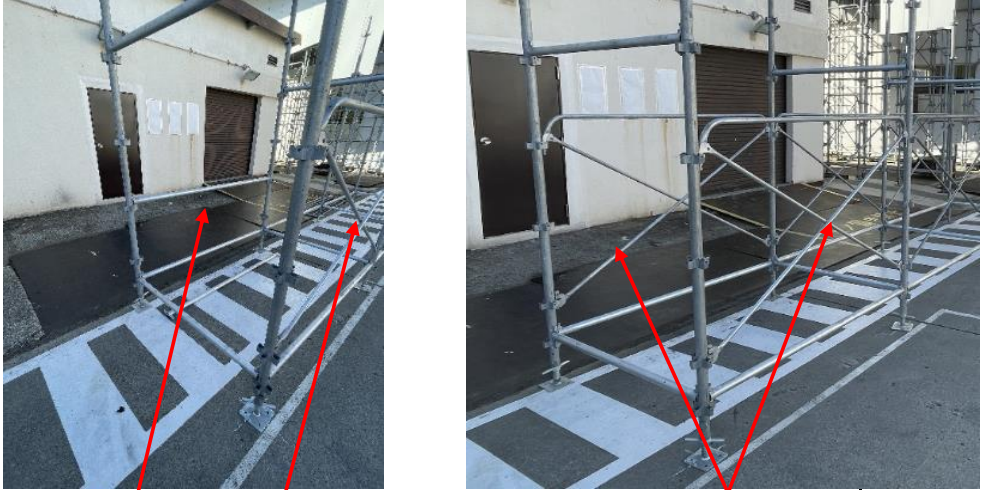
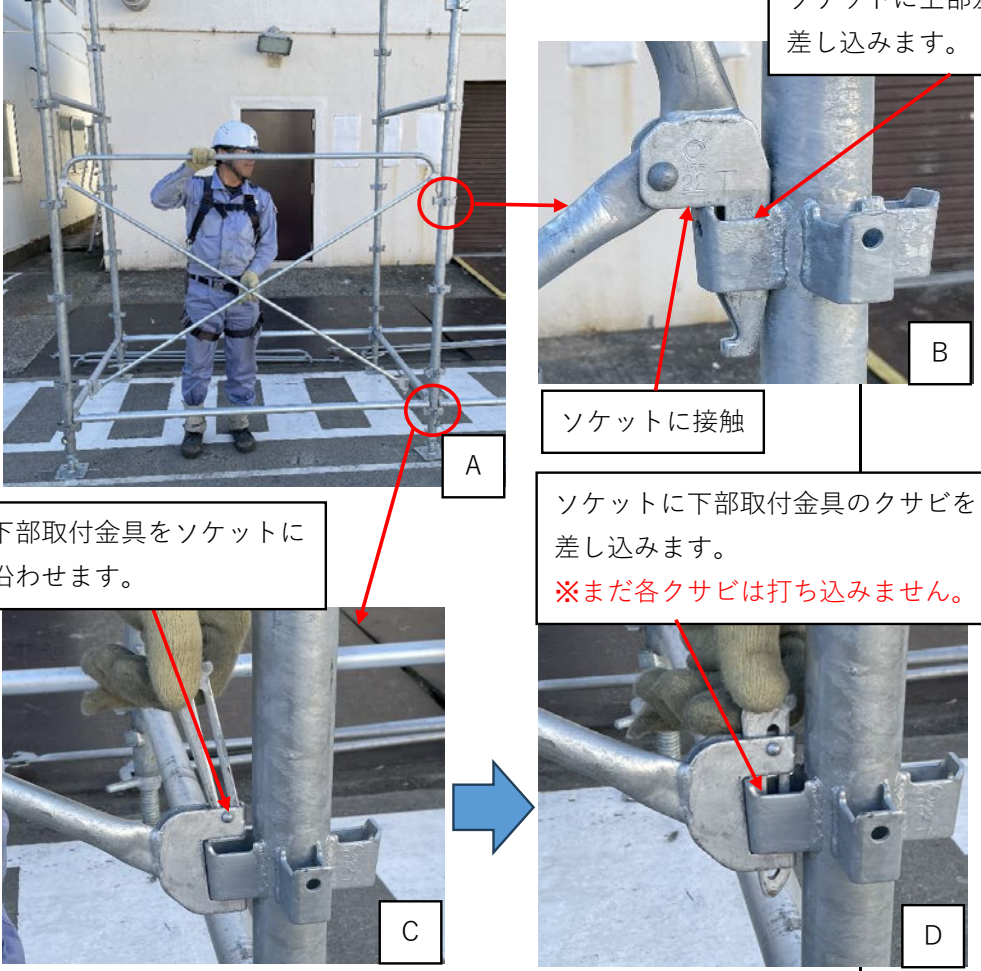
1. 1層目の組立 (1)

No.	作業内容	注意事項等
1	<p>足場の基礎等</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 足場計画図に従い、足場を組立てる位置の墨出しをします。 2) 足場を組立てる場所は、必要に応じて敷板を敷きます。 3) 敷板の上に計画の高さに調整したジャッキベースを並べます。    <p>敷板</p> <p>※ 推奨ハンマー 1ポンド (0.45kg)</p>	
2	<p>支柱／根がらみ布材の仮預け</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 支柱JFT-27(2700mmの支柱)をジャッキベースに差し込みます。 設置場所に段差がある場合はJFT-2.5(250mm)、JFT-2.25(225mm)、JFT-4.5(450mm)等で高さを調整します。 2) 支柱が倒れないよう支えながら、最下段のソケットに布材 (JFN-123他)を差し込みます。 はじめに梁間方向の根がらみ布材を取り付けます。 3) 桁行方向の根がらみ布材を取り付けます。  <p>A</p> <p>※まだ各クサビは打ち込みません。</p>  <p>B</p> <p>※まだ各クサビは打ち込みません。</p>  <p>×</p> <p>ピンが載っている</p>  <p>×</p> <p>ピンが出ている</p> <p>クサビを叩き上げ、ロックピンが奥にある事を確認して下さい</p>	<p>※1)必ず2名で作業をして下さい。</p> <p>※2)布材を差し込む前にクサビを叩き上げ、ロックピンが奥にあることを確認して下さい。</p> <p>クサビが下がり、ロックピンが出ていると、左図のとおりソケットに載り、差し込み出来ません。</p> <p>また、左図の状態でクサビを叩き込むと板バネが損傷します</p>

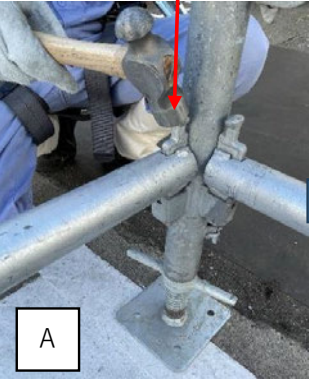
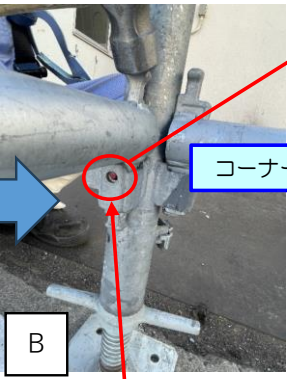


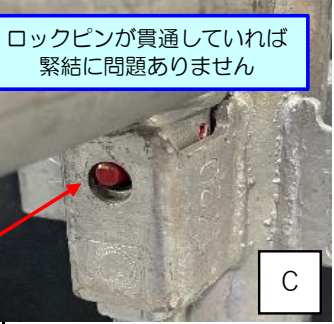
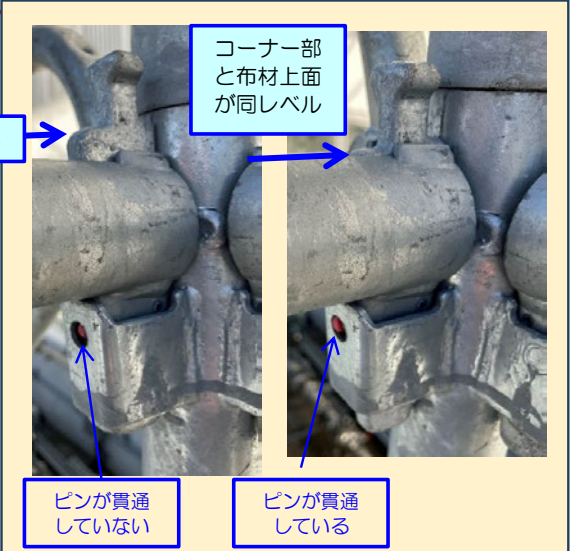
1. 1層目の組立 (2)

No.	作業内容	注意事項等
2	<p>支柱／根がらみ布材の仮預け (続き)</p> <p>クサビが上がっている状態でソケットに差し込みます。</p>  <p>E</p> <p>※まだ各クサビは打ち込みません。</p>  <p>F</p> <p>仮置き状態でソケットと布材のパイプが接しているか確認して下さい。</p>  <p>G</p> <p>隙間</p> <p>ロックピンがソケットの穴に貫通せず、抜け止め機能が働きません。 またこの状態でクサビを叩き込むと板バネを損傷する可能性があります。</p>	
3	<p>レベル出し</p> <p>1) 水平器等を使用し、ジャッキハンドルの調整によりレベルを出します。</p>  <p>A</p>  <p>B</p>	
4	<p>布材 (腕木) の取り付け</p> <p>1) 上部床用に足場の梁間方向に布材を取り付けます。 2) 取付位置は下から5段目のソケットです。</p>  <p>A</p> <p>※まだ各クサビは打ち込みません。</p>	<p>※1) 布材を差し込む前にクサビを叩き上げ、ロックピンが奥にあることを確認して下さい。</p>


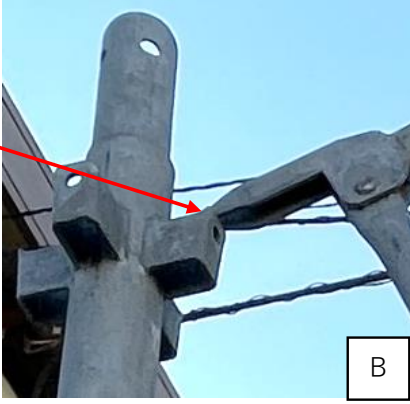


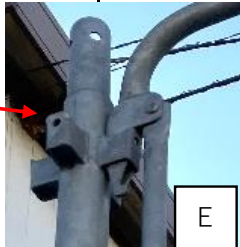

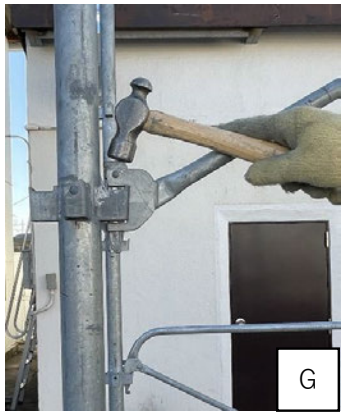
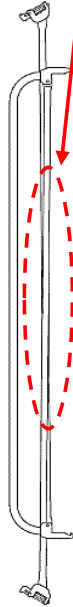
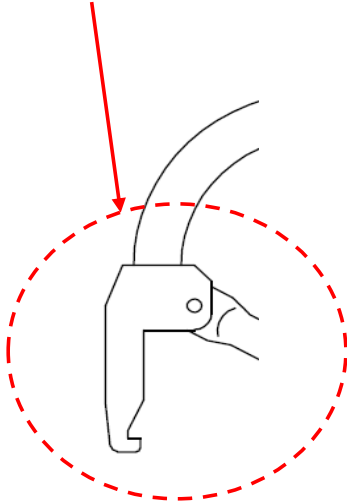
1. 1層目の組立 (3)

No.	作業内容	注意事項等
5	<p>最下層の布材・先行手摺付きブレースの取り付け</p> <p>1) 後踏み側には先行手摺付きブレース（以下、先行手摺と言う）、前踏み側には先行手摺又は布材を取り付けます。 足場計画に沿って、正しく設置下さい。</p>	
		
<p>最下層：片面布材+片面先行手摺の場合</p>		<p>最下層：両面先行手摺の場合</p>
<p>2) 先行手摺は、根がらみ設置位置より3段上の支柱のソケットに上部差込金具を差し込み、ブレースの下部取付金具をソケットに取り付けます。</p>  <p>ソケットに上部差込金具を差し込みます。</p> <p>ソケットに接触</p> <p>下部取付金具をソケットに沿わせます。</p> <p>ソケットに下部取付金具のクサビを差し込みます。 ※まだ各クサビは打ち込みません。</p>		

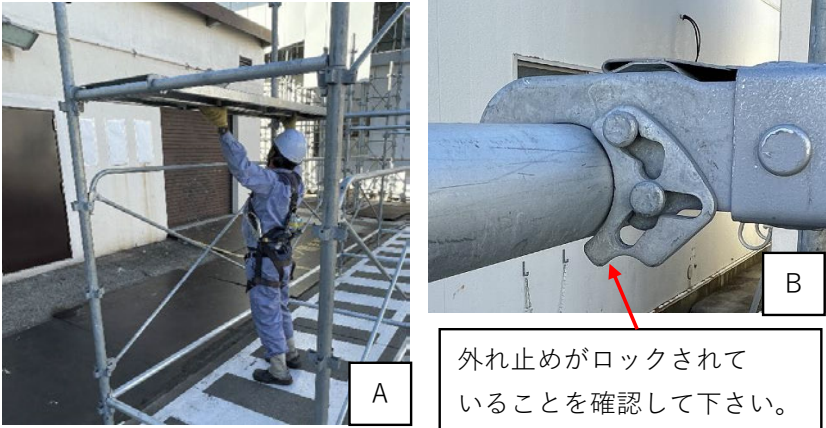


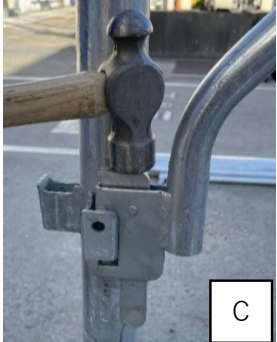
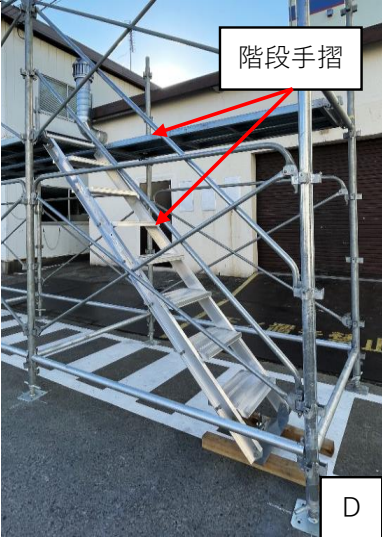
1. 1層目の組立 (4)

No.	作業内容	注意事項等
6	<p>クサビの緊結</p> <p>1) ハンマーにて布材及び先行手摺のクサビを確実に打ち込み、緊結します。</p> <p>2) 布材のクサビを打ち込むと、ソケットの穴にロックピンが貫通します。ロックピンが出るまで打ち込んで下さい。</p> <div data-bbox="236 510 582 616" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>布材のクサビをハンマーで打ち込み、緊結します。</p> </div> <div data-bbox="236 631 545 1008" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">  <p>A</p> </div> <div data-bbox="603 631 890 1008" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">  <p>B</p> </div> <div data-bbox="284 1052 858 1160" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>ハンマーで打ち込んだ後、ソケットの穴からロックピンが出ていることを確認して下さい。</p> </div> <div data-bbox="236 1288 630 1393" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>先行手摺のクサビをハンマーで打ち込み、緊結します。</p> </div> <div data-bbox="247 1415 667 1953" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">  <p>D</p> </div> <div data-bbox="705 1415 1125 1953" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">  <p>E</p> </div> <div data-bbox="1133 309 1468 631" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">  <p>C</p> </div> <div data-bbox="925 660 1497 1209" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">  <p>コーナー部と布材上面が同レベル</p> <p>コーナー部</p> <p>ピンが貫通していない</p> <p>ピンが貫通している</p> </div> <div data-bbox="949 1232 1484 1388" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>◆クサビ叩き込み目安</p> <ul style="list-style-type: none"> ①ロックピンが貫通していること ②上図のとおり、クサビのコーナー部が布材上面と同レベルに有ること </div> <div data-bbox="673 1971 1308 2078" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>ハンマーで打ち込んだ後、下部取付金具のクサビがソケットに入り込んでいることを確認して下さい。</p> </div>	<p>ロックピンが貫通していれば緊結に問題ありません</p>

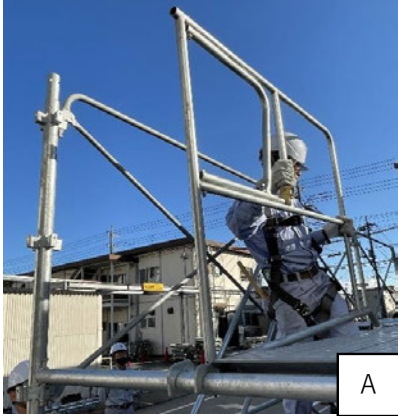
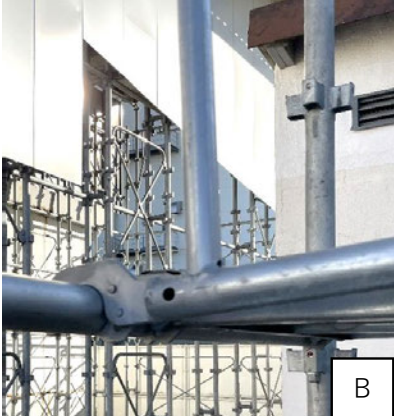






2. 2層目の組立 (1)

No.	作業内容	注意事項等
1	<p>2層目の先行手摺の取り付け</p> <p>1) 支柱(JFT-27)の最上部のソケットに先行手摺(JFX-183N 他)を取り付けます。</p> <p>・ 先行手摺の取り付け手順</p> <p>1) 先行手摺を両手で掴んで持ち上げ、上部差込金具のフックの片側を支柱のソケットに仮預け状態にします。</p>   <p>2) ソケットに仮預けした状態で反対側をブレースにより持ち上げます。 手摺が平行になると上部差込金具が自然にソケットに入ります。</p> <p>3) 反対側の金具をソケットへ差し込みます。</p>    <p>4) 両側の上部差込金具をソケットに差し込んだ後、ブレースの下部取付金具のクサビを持ち上げ、支柱ソケットに取り付けます。反対側の下部取付金具も同様に取り付けます。</p> <p>5) 下部取付金具のクサビをハンマーで打ち込み、緊結します。</p>  	<p>※1) 先行手摺を手渡しで荷上げする際は、折り畳んだ先行手摺が不意に開かないように2本のブレースが<u>重なった部分</u>を持って下さい。</p>  <p>※2) 作業時は、手が挟まれる為、手摺とブレースが連結するヒンジ部を持たない様注意して下さい。</p> 

2. 2層目の組立 (2)

No.	作業内容	注意事項等
2	<p>床付き布わくの取り付け</p> <p>1) 上部の布材に床付き布わくを取り付けます。</p> <p>2) 床付き布わくのつかみ金具の外れ止めを確実にロックします。</p> 	<p>※1)床付き布わくは下層から上層に向かって取り付けて下さい。</p>
3	<p>階段・階段手摺の取り付け</p> <p>1) 足場計画に従い、所定の位置に階段を取り付けます。 階段は上部のつかみ金具を布材に取り付けます。 この時、外れ止めがロックされていることを確認して下さい。</p>  <p>2) 階段取り付け後、階段手摺を取り付けます。 はじめに上部差込金具を支柱の内側のソケットに差し込みます。</p>  <p>3) 下部取付金具を支柱の内側のソケットに取り付け、クサビを打ち込みます。</p> 	

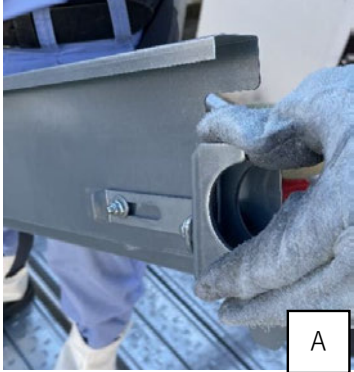


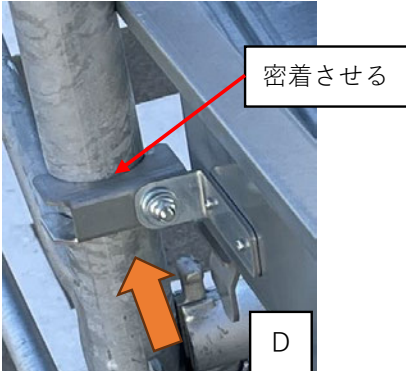
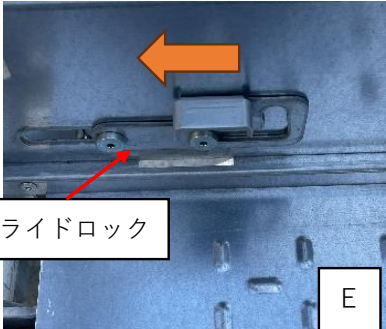
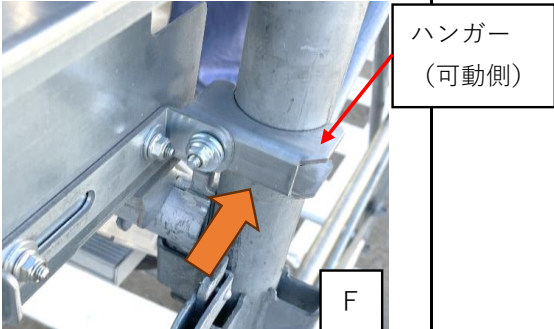
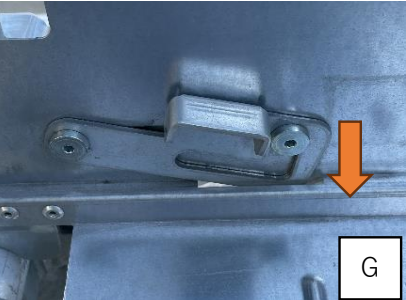
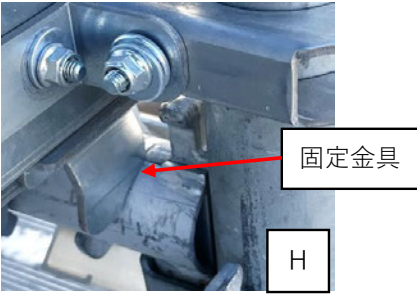
2. 2層目の組立 (3)

No.	作業内容	注意事項等
4	<p>階段開口部用手すり枠の取り付け</p> <p>1) 階段開口部用手すり枠を取り付けます。</p> <p>・ 階段開口部用手すり枠の取り付け手順</p> <p>1) つかみ金具を布材に取り付けます。</p>   <p>2) 反対側の固定金具を階段の支持材に挟み込み、ボルト (対応ソケット: 17、M10) を締め付けて固定します。</p>    <p>3) 妻側の手摺を伸縮させて支柱に取り付け、クランプ及び伸縮部のボルト(対応ソケット17、M10)を締め付けて固定します。</p>   	<p>※1)必ず墜落制止用器具を着用し、先行手摺にフックを掛けて作業し、墜落に注意して下さい。</p>


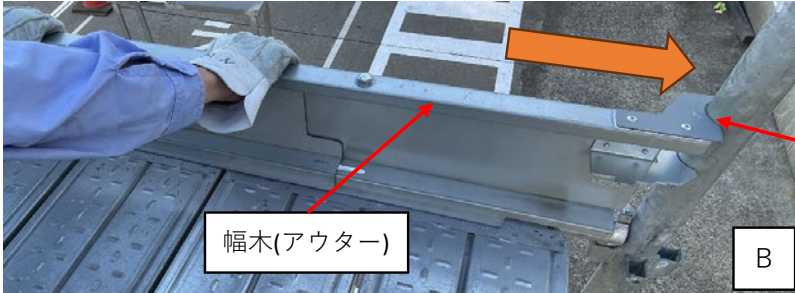
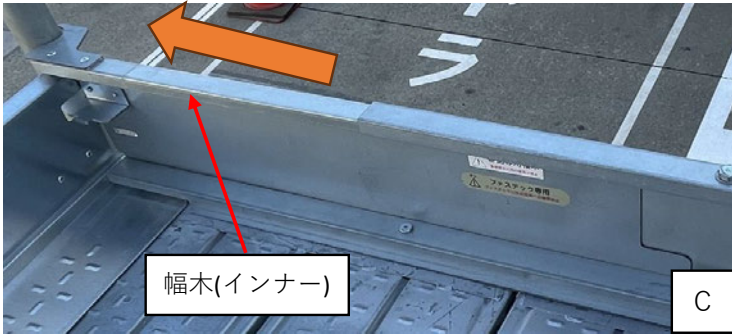


2. 2層目の組立 (4)

No.	作業内容	注意事項等
5	<p>前踏み側（躯体側）手摺の取り付け</p> <p>（写真は片面先行手摺＋片面布材の場合）</p> <ol style="list-style-type: none">1) 前踏み側の手摺には、先行手摺又は布材を2段に取り付けます。2) 先行手摺を取り付ける場合はNo.1と同様に、下層から上層に向かって取り付けます。  <p style="text-align: right;">A</p>	<p>※1)布材を取り付ける場合は必ず墜落制止用器具を着用し、先行手摺にフックを掛けて作業し、墜落に注意して下さい。</p>
6	<p>妻側手摺の取り付け</p> <ol style="list-style-type: none">1) 妻側の手摺には、布材を2段に取り付けます。  <p style="text-align: right;">B</p>	



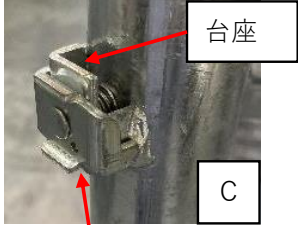
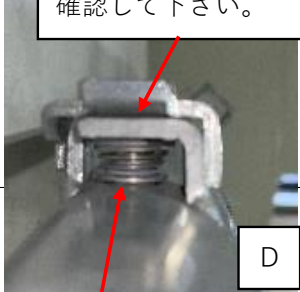

2. 2層目の組立 (5)

No.	作業内容	注意事項等
7	<p>幅木の取り付け</p> <p>① スライドロック桁側幅木の取り付け手順</p> <p>1) ハンガーを左右ともに90°回転させて開きます。</p>   <p>2) ハンガー（固定側）を支柱に密着するよう押し当てます。</p>   <p>3) スライドロックを動かし、ハンガー（可動側）を支柱に密着するよう押し当てます。</p>   <p>4) スライドロックを押し下げてロックします。 幅木の下部の固定金具が布材に設置していることを確認して下さい。</p>  	<p>※1)水平部を床材等に必ず乗せて使用し、かつ水平部と床材等との重なり寸法を10mm以上確保して下さい。</p> <p>※2)支柱に取り付けていない際は、ハンガーは畳んでおいて下さい。</p> <p>※3)幅木に資材等を載せないで下さい。</p>

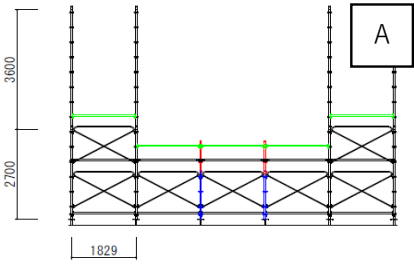
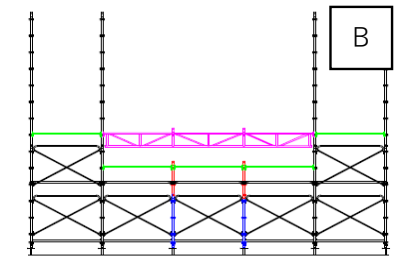
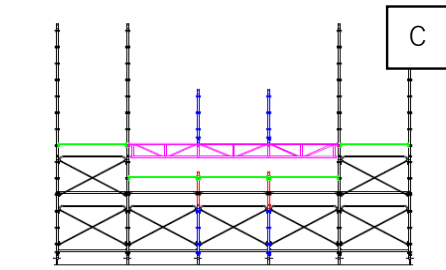
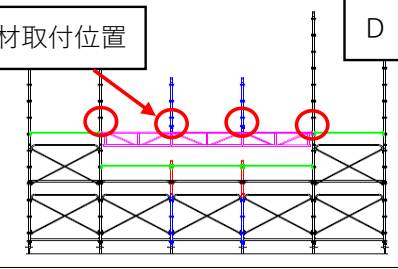
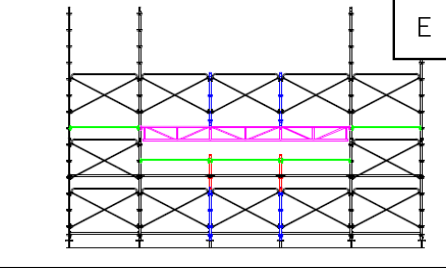
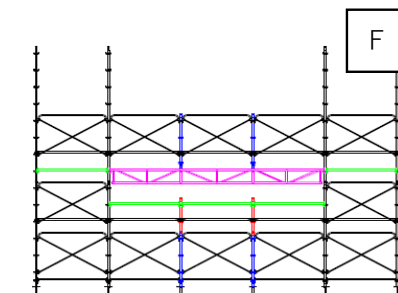
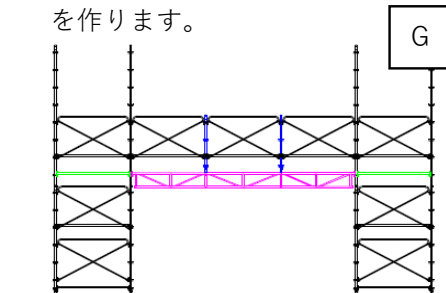
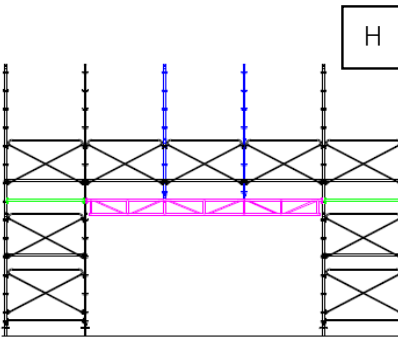
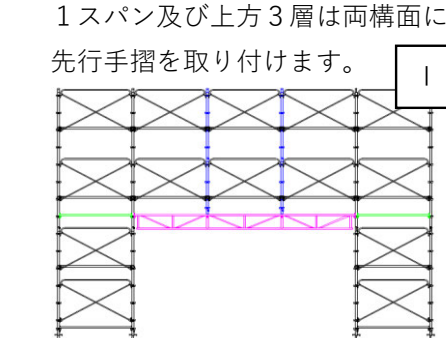
2. 2層目の組立 (6)

No.	作業内容	注意事項等
7	<p>幅木の取り付け (続き)</p> <p>② スライドロック妻側幅木の取り付け手順 (1219・914兼用タイプ、610専用タイプとも同一手順)</p> <p>1) 上部のボルト(対応ソケット:17、W3/8)を緩めます。</p>  <p>2) 幅木(アウター)を支柱に密着するよう押し当てます。</p>  <p>3) 幅木(インナー)をスライドして支柱に密着するよう押し当てます。</p>  <p>4) 上部のボルトを締め付けて固定します。</p>  	

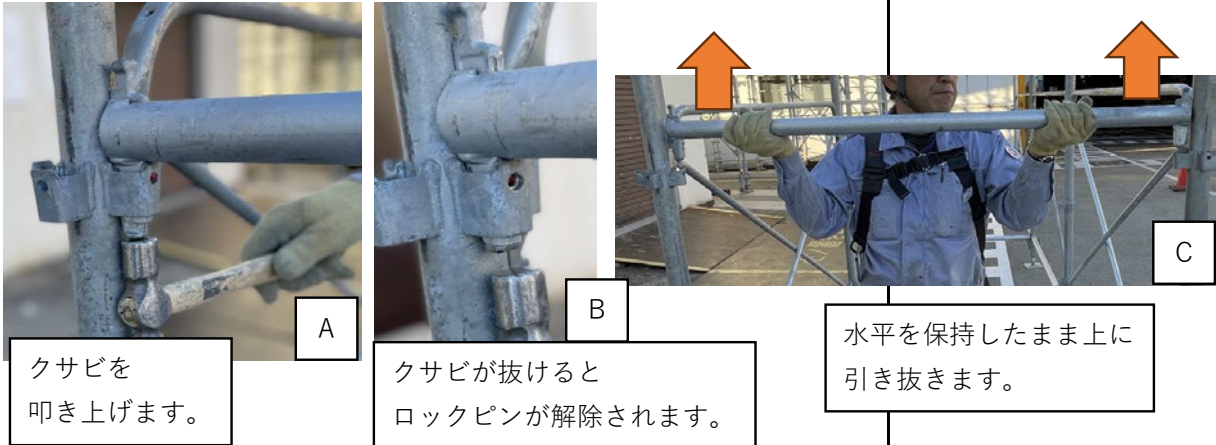
3. 3層目以降の組立

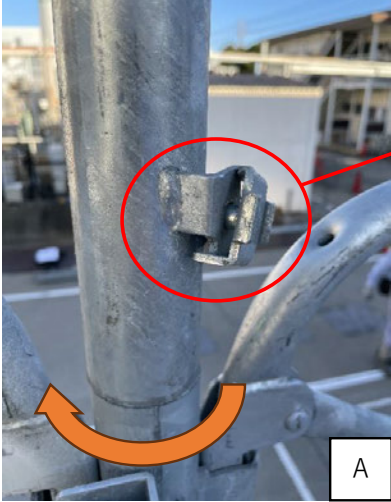
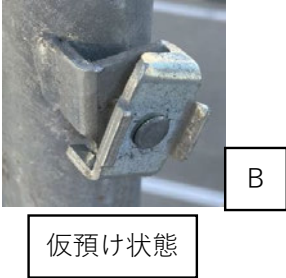


No.	作業内容	注意事項等
1	<p>上段の支柱の取り付け</p> <p>1) 下段の支柱のホゾに支柱(JFT-36,他)を差し込みます。</p> <p>2) ロック金具が「カチッ」と音がするまで支柱を回転させます。 台座とロック金具が隙間無く密着しており、ロックされていることを確認して下さい。</p>   <p>A</p> <p>B</p> <p>支柱を差し込んで回すだけでピンが連結部の穴に貫通し、ロックされます。</p>	<p>※1)支柱をバランスを崩さないようしっかり保持し、支柱が落下しないように注意して下さい。</p> <p>※2)ロック状態の確認方法</p>  <p>台座</p> <p>C</p> <p>ロック金具</p> <p>台座とロック金具が隙間無く密着しており、仮預けになっていないことを確認して下さい。</p>
2	<p>布材（腕木）の取り付け</p> <p>1) 上部床用に足場の梁間方向に布材を取り付けます。 （「1. 1層目の組立」No.4と同様です）</p> <p>2) 布材をソケットに差し込んだ後、クサビをハンマーで打ち込みます。 ソケットの穴からロックピンが出ていることを確認します。</p>	 <p>D</p>
3	<p>以降、「2. 2層目の組立」No.1～7を繰り返し、組み立てます。</p>	
4	<p>足場計画に沿って、正しい手順でブラケットや壁つなぎ等を設置して下さい。</p>  <p>E</p>	<p>ロックピンが連結部の穴に貫通し、支柱とほぞが固定されます。</p>

4. 開口部（梁枠）


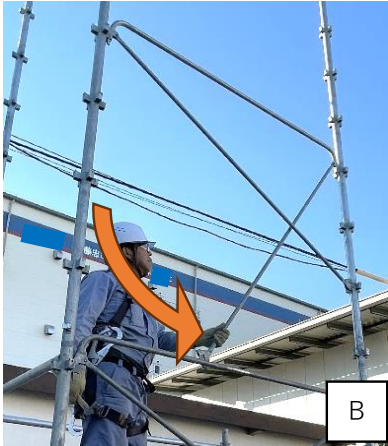


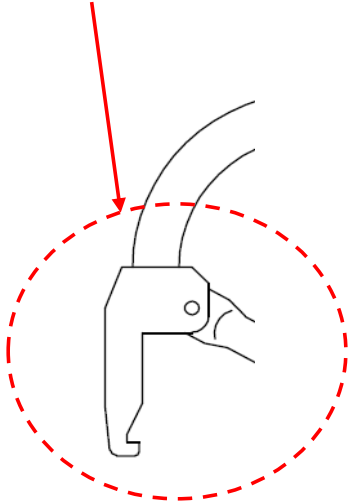
No.	作業内容	注意事項等
1	<p>梁枠の取り付け手順</p> <p>1) 開口部を設けるときは、下図のように組み立ててください。</p>   <p>2) 梁枠を取り付けます。</p> <p>3) 梁枠上に支柱を取り付けます。</p>  <p>4) 一層上の作業床になる位置に布材を取り付けます。</p>  <p>5) 先行手摺を両構面に取り付けます。</p>  <p>6) 床付き布わくを取り付けます。</p>  <p>7) 梁枠の下の足場を解体し、開口部を作ります。</p>  <p>8) 周りの支柱の高さと同じにする為、支柱を取り付けます。</p>  <p>9) 組立完成です。以降、通常と同様に組み立てますが、梁枠の両端1スパン及び上方3層は両構面に先行手摺を取り付けます。</p> 	<p>※1)梁枠の両端1スパン及び上方3層は両構面（前踏み／後踏み）に先行手摺を取り付けます。</p>

5. 解体手順 (1)

No.	作業内容	注意事項等
<p>● 解体は、組立と逆の手順にて行います。</p> <p>1 シート・壁つなぎ等周辺部材の取り外し</p> <p>2 幅木（桁側・妻側）の取り外し</p> <p>1) 先に妻側幅木を取り外します。</p> <p>2) その後、桁側幅木を取り外します。</p> <p>3 妻側手摺の取り外し</p> <p>1) 妻側手摺（布材）を取り外します。</p> <p>布材はクサビをハンマーにて叩き上げ、解除し抜き取ります。</p> <p>4 前踏み側（躯体側）手摺の取り外し</p> <p>1) 先行手摺又は布材を取り外します。</p> <p>2) 布材はクサビを下部よりハンマーにて叩き、解除し抜き取ります。</p> <p>3) 先行手摺の場合は下層より取り外します。</p> <p>5 同層はすべて同様に解体し、下層へ下ります。</p> <p>6 階段開口部用手すり枠の取り外し</p> <p>7 階段手摺・階段の取り外し</p> <p>8 上層の床付き布わくの取り外し</p> <p>9 上層の先行手摺の取り外し</p> <p>※「6. 先行手摺付きブレース解体要領」(p.15～p.16)を御参照下さい。</p> <p>10 上層の布材（腕木）の取り外し</p>	<p>※1)必ず墜落制止用器具を着用し、先行手摺にフックを掛けて作業し、墜落に注意して下さい。</p>  <p>クサビを叩き上げます。</p> <p>クサビが抜けるとロックピンが解除されます。</p> <p>水平を保持したまま上に引き抜きます。</p>	

No.	作業内容	注意事項等
11	<p>上段の支柱の取り外し</p> <p>1) 支柱のロック金具を引き、回転させ、仮預けにします。</p> <p>2) 下段の支柱より、上段の支柱を抜き取ります。</p>    	<p>※2)支柱をバランスを崩さないようしっかり保持し、支柱が落下しないように注意して下さい。</p>
12	<p>以下、No.1～11を繰り返す</p>	
13	<p>脚部の解体</p> <ul style="list-style-type: none"> 支柱を支えながら、根がらみ布材を取り外します。 支柱をジャッキベースから取り外します。 	<p>※3)必ず2名で作業をして下さい。</p>

6. 先行手摺付きブレース解体要領 (1)

No.	作業内容	注意事項等
	<p>1) 先行手摺の下部取付金具のクサビをハンマーにて叩き上げ、取り外して下さい。 この時、取り外すブレースを必ず持って下さい。</p>  <p>A</p> <p>2) ブレースを持ったまま下に降ろして下さい。</p>  <p>B</p> <p>3) 反対側の下部取付金具のクサビをハンマーにて叩き上げ、取り外して下さい。この時も、外すブレースを必ず持って下さい。</p>  <p>C</p>	<p>※1) ブレースを持たずに外すと、顔や体に当たる等危険があります。</p> <p>※2) 先行手摺を手渡しで荷上げする際は、折り畳んだ先行手摺が不意に開かないように2本のブレースが重なった部分を持って下さい。</p>  <p>※3) 作業時は、手が挟まれる為、手摺とブレースが連結するヒンジ部を持たない様注意して下さい。</p> 

6. 先行手摺付きブレース解体要領 (2)

No.	作業内容	注意事項等
	<p>4) ブレースを持ったまま回転させ、下に降ろして下さい。</p>  <p>D</p> <p>5) 両手でブレースを持ち、両側の上部差込金具を左右同時かつ水平に持ち上げ、支柱ソケットより抜いて下さい。</p>  <p>E</p> <p>6) ブレースを滑らすようにし、下に降ろして下さい。</p>  <p>F</p> <p>7) 足場内に降ろし、折り畳んでください。</p>  <p>G</p>  <p>H</p>	<p>※4)片側ずつ外すことは出来ません。</p>  <p>I</p> <p>以 上</p>

JFE 機材フォーミング 株式会社

<https://www.jfe-kizai.co.jp/>



本 社	〒270-2214 千葉県松戸市松飛台478-2	TEL 047(387)0158	FAX 047(387)0159
本 社 営 業 部	〒270-2214 千葉県松戸市松飛台478-2	TEL 047(387)0158	FAX 047(387)0159
名 古 屋 営 業 所	〒450-6427 名古屋市中村区名駅3-28-12(大名古屋ビルヂング27F)	TEL 052(533)2481	FAX 052(533)2482
大 阪 営 業 所	〒530-0003 大阪市北区堂島1-6-20(堂島アバンザ)	TEL 06(6342)0615	} FAX 06(6342)0616 (共通)
出 張 所	〒730-0037 広島市中区中町7-23(住友生命広島平和大通り第2ビル)	TEL 082(542)3100	
九 州 営 業 所	〒812-0025 福岡市博多区店屋町1-35(博多三井ビルディング2号館)	TEL 092(263)6778	FAX 092(263)6738
製 造 部	〒270-2214 千葉県松戸市松飛台478-2	TEL 047(387)0156	FAX 047(384)2445